

ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2024

実施報告書

2025年2月28日

特定非営利活動法人関西 NGO 協議会

事務局長 栗田佳典

1. 事業実施団体

団体名	特定非営利活動法人関西 NGO 協議会
代表者	代表理事 三輪敦子
担当者	事務局長 栗田佳典
住所	〒530-0013 大阪市北区茶屋町 2-30 大阪聖パウロ教会 4 階
電話	06-5377-5144

2. 事業概要

事業名称	ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2024 私たちが描く持続可能な社会の未来図
内容	高校生・大学生世代のユースを主体とする国際協力・SDGs・多文化共生に関するイベント。イベント当日は企業や NGO、高校生のブース出展を実施し、国際協力や SDGs、多文化共生における社会課題を知り、解決のためのアクションを行う。
開催日時	2024年12月22日(日) 10:00~16:30
開催場所	大阪 YMCA (大阪市西区土佐堀 1-5-6) 3 階~5 階の教室
協力	公益財団法人大阪 YMCA、ワン・ワールド・フェスティバル for Youth アドバイザリーグループ
後援	文部科学省 JICA 関西 朝日新聞社 関西 SDGs プラットフォーム 認定 NPO 法人開発教育協会 (DEAR)
指定寄付	近畿ろうきん・社会貢献預金 (笑顔プラス)
助成	SOMPO ちきゅう倶楽部社会貢献ファンド 阪神高速 未来(あす)へのチャレンジプロジェクト助成事業
協賛	真如苑 株式会社オルタナティブツアーアジア
主催	特定非営利活動法人関西 NGO 協議会
特設サイト	https://owf-youth.com/index.html

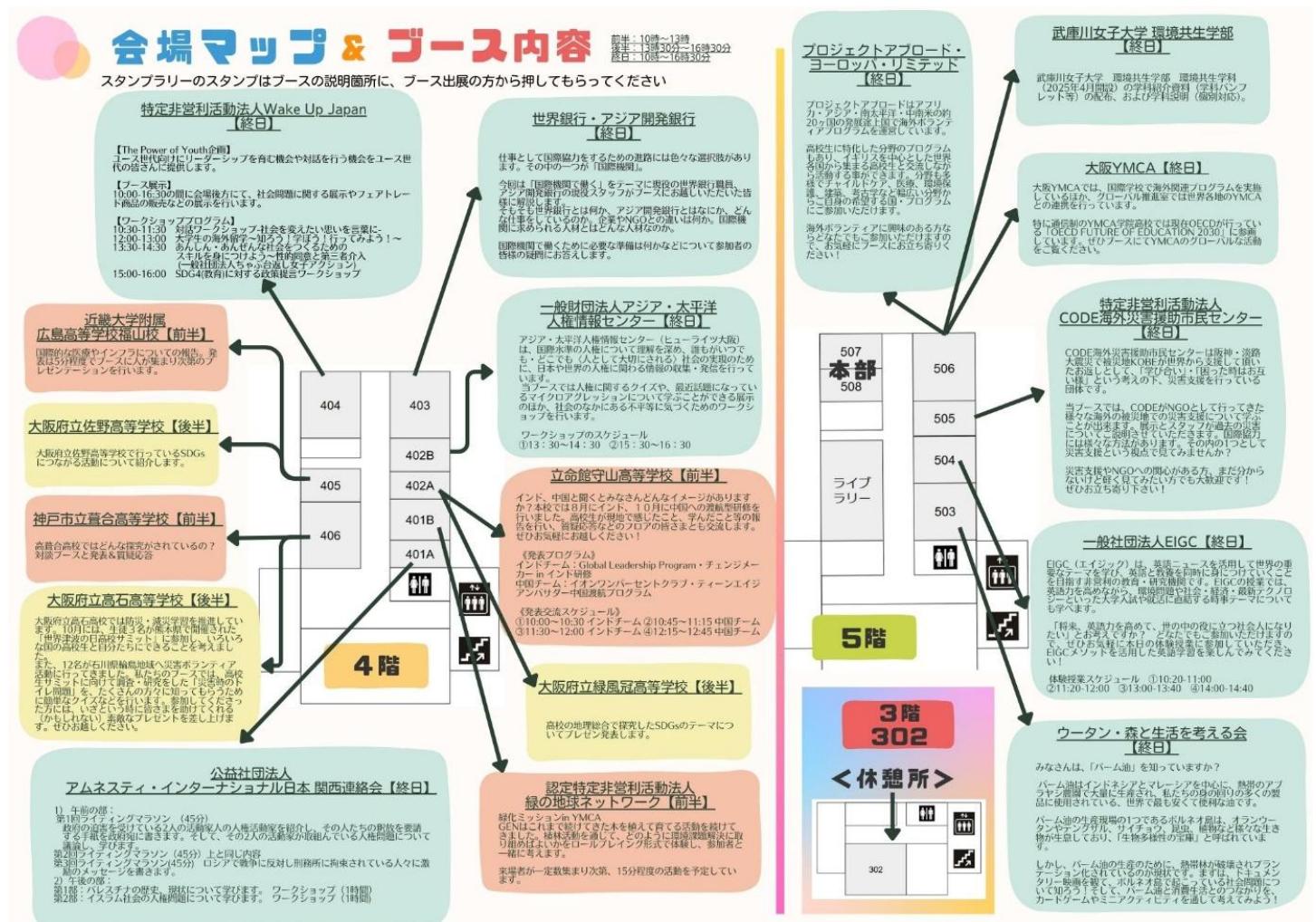
3. 実施内容

16 のブース (NGO 等 11 団体、高校 5 校) が出展し、112 名が参加、15 名のボランティアが協力した。

従来は高校生を対象としたイベントだったが、今年度から大学生世代にも対象を拡大。「関西を中心としたNGOとユース世代、教育関係者、企業・団体との連携促進」を目的に、12月22日に開催した。今年度は広いホールではなく、教室をブースに見立て、国際協力、SDGs、多文化共生をテーマとする団体を募集。イベント当日は、建物内の教室でNGOや団体、教育機関などがそれぞれ工夫を凝らし、ワークショップやポスターセッション、講演会、相談・質問対応など、多様な形式でユース世代との交流を行った。

また、大阪府立高津高校から 14 名のボランティアを受け入れ、会場誘導や資料整理、ワークショップへの参加などを通じて、学びの機会を提供できた。参加者の中には福島県から訪れた人や、保護者と一緒に参加した人もおり、キャリアを考える貴重な機会となった。一方で、来場者の満足度は高かったものの、当日キャンセルが 20 名を超え、想定より来場者数が伸びなかつたことが今後の課題となった。

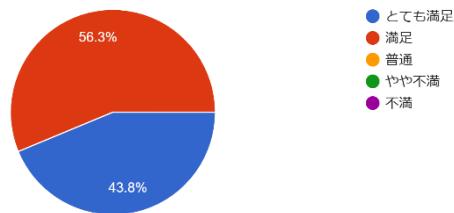
当日の会場図 出展内容



4. 参加者の声

イベント全体の評価に関する回答はすべて「満足」以上の回答になった。

Q2.本日のイベントはいかがでしたか。 全体を通して評価をお願いします。
16 件の回答



以下、参加者の自由記述欄より抜粋

- ・ウータンさんのブースを回れ、知り合いに会うことができた。
 - ・高校生のみんなのお話が充実されていると感じました。中国のお話など行く前と行った後の感想や考えが変わったことでプログラムの成長度なども実感できました。後、世界銀行とアジア銀行と直接交流することができ、色々学べるようになりました。
 - ・様々な話が聞けて面白かったです。視野が広がったきがしました
 - ・学びがたくさんありました！
 - ・ワークショップが楽しかった
 - ・どの話も面白かったから
 - ・いつもと開催の感じは違いましたが、その分、高校生達と交流ができたと思っています。
 - ・様々な方の意見を聞き、新たに考えたり、学んだりしたことがたくさんあり、自分にとってとても良い機会になったと感じた。
 - ・自分の知らなかつたことをたくさん知ることができた。
 - ・発展途上国、他国の現状がよく分かった。様々な発表や催しを通してより知ることができた。
- 説明が分かりやすかった。
- ・SDGs や世界のことについて知らないことをたくさん知れた。いろいろな人の考え方や思いに触れることができた。世界銀行の仕組みがおもしろかった。
 - ・同じ SDGs の目標を持っている人が様々な分野からアプローチしているのを感じられた。
 - ・発表の内容がとても良かった。
 - ・色々なことを知れた。また知ってもらえたため

当日の会場の様子





5. 収支報告

収 支 決 算 書

1. 収入の部

費目	内訳	金額（円）
参加・出展料	プログラム出展料：125,000円（10団体）	125,000
協賛・寄付	協賛金：150,000、指定寄付：281,256円	431,256
受取助成金・受取補助金	SOMPO ちきゅう俱楽部社会貢献ファンド：50,000円 阪神高速 未来（あす）へのチャレンジプロジェクト助成事業：55820円	105,820
関西 NGO 協議会自己資金		189,266
合 計		851,342

2. 支出の部

費目	内訳	金額（円）
会場費	会場利用料、ウェブサイトサーバー使用料	146,000
講師謝礼	チラシ、ウェブサイトバナー製作費	55,000
会議費	スタンプラリー景品等	16,512
交通費	事務局交通費	29,350
印刷費	フライヤー、ポスター印刷代	39,080
保険料	施設所有者賠償責任保険	12,950
広報費	集客用サイトオプション費用	12,760
事務局経費	スタッフ人件費（10時間×9か月）	538,920
雑費	振込手数料	770
合 計		851,342



12/22
[10:00~16:30]

開催場所 大阪YMCA
(3階~5階の教室)

大阪市西区土佐堀 1-5-6

Osaka Metro 四つ橋線「肥後橋」3番出口より徒歩5分
Osaka Metro 御堂筋線・京阪線「淀屋橋」4番出口より徒歩10分
※JR 大阪駅や阪神梅田駅からの徒歩でお越し頂けます

事前申込制



ワンフェスユース
公式サイト

主催・問い合わせ 具体非営利活動法人 関西NGO協議会
〒530-0013 大阪市北区茶屋町2-30 4階



メール: youth_expo@kansaingo.net
ホームページ: http://owf-youth.com

Twitter: @owfyouth Instagram: owfyouth ワンフェスユース

主催 具体非営利活動法人 関西NGO協議会

協力 公益財団法人 大阪YMCA、ワンフェスユース・アドバイザリーグループ

寄付 近畿ろうきん・社会貢献預金(笑顔プラス)、SOMPOちきゅう俱乐部社会貢献ファン

後援 文部科学省、JICA関西、朝日新聞社、関西SDGsプラットフォーム、認定NPO法人開発教育協会(DEAR)

協賛 真如苑、株式会社オルタナティブツアーア(10/31時点)

助成 阪神高速 未来(あす)へのチャレンジプロジェクト助成事業 デザイン 株式会社バーキーバット・デザインズ



イベントチラシ裏

ONE WORLD FESTIVAL for Youth 2024



ワン・ワールド・フェスティバル for Youth (ワンフェスユース) は、高校生、大学生世代を対象とした国際協力・SDGs・多文化共生のフェスティバルです。

国際協力やSDGsに取り組むNGOや国際機関・企業・教育機関が出演し、お話を聞いたり、ワークショップに参加ができる1日。活動紹介や物品販売のコーナーもあります。

ワンフェスユースに参加して、今日さまざまな視点から取り組まれている国際協力やSDGsについて知り、その社会課題の解決に向けて、「最初の一歩」を踏み出しましょう！

2024年は教室をブースに見立て、施設内の各教室にNGO等が集結します！



高校の学園祭のように各教室にNGOや団体がブース出展・ミニ講演を聞いたり、ワークショップに参加したり、様々な学びを得ることができる機会です。



本イベントは事前申込制です。申込みをお願いします

2024年11月中旬ごろ、公式サイトにて参加申込を開始する予定です。また、イベント当日に会場の誘導や受付、プログラムレポートなどををお願いするボランティアも同時に募集予定です。（ボランティア証明書発行あり）

参加人数に限りがありますのでご希望の方は期間内にお早めにお申し込みください。

お願い

感染症予防のため、ご来場の際は、手洗い消毒・換気など皆様が安心してご参加いただけるようご理解ご協力をお願いいたします。尚、実施要項に変更がある場合にはワンフェスユース公式サイトにてお知らせいたしますのでご確認ください。

事前申込制

ワンフェスユース



会場案内 大阪YMCA 大阪市西区土佐堀1-5-6

Osaka Metro 四つ橋線「肥後橋」3番出口より徒歩5分
Osaka Metro 御堂筋線・京阪線「淀屋橋」4番出口より徒歩10分
※JR大阪駅や阪神梅田駅から徒歩でもお越し頂けます。

